

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakureen@lime.ocn.ne.jp

URL : http://www1.ocn.ne.jp/~hgakur/

郵便振替口座 01380-6-37958

韓国大邱広域市山岳連盟 八公山山岳祭訪問団報告

広島県山岳連盟、特別表彰受ける

訪韓団 13名 参加

10月27日～11月3日

大邱広域市山岳連盟会長より大邱山岳連盟の主要行事、八公山（パルコンサン）山岳祭の正式な招待状が届き、13名の訪問団が結成され、このほど訪韓した。広島県山岳連盟は1999年から本格的な交流が開始され、本年度11年目にあたる。訪れた山は、大邱市の八公山（1152m）と国境に近い雪嶽山（ソラクサン）（1708m）。好天の中日韓交流を深めた。引率は李尚起（イ・サンギ）氏。

山岳祭では、広島と大邱岳人同志の交流で10年間の実績が評価されて、今回、広島県山岳連盟は特別表彰され、クリスタルの楯を贈呈された。

大邱山岳連盟から、来年復活開催が計画されている「比婆山スカイラン」に是非訪日したいという希望が寄せられた。（写真は国体山岳競技3位の賞状 20頁に記事）

2009 日韓交流団員名簿

松島宏（事務局長・広大山の会）・加賀谷健一（副団長・広大山の会）・岩内秀昭（団長・可部山岳会）・伊東奉文（修大山岳会）・清水欣三（広島やまびこ会）・坂本豊（岳友クラブ）・奥富久枝（広島山稜会）・灰谷稔（広島山稜会）・笹田行雄（ひこばえ）・李尚起（個人会員）・朝尾博謙（日本山岳会広島支部）・朝尾洋子（日本山岳会広島支部）以上13名

写真は特別表彰のクリスタル盾



90号の紙面

広島県山岳連盟、韓国から特別表彰・国体3位賞状 17

日韓交流登山の記録1999～2009 18

クライミングスクール受講して 面田実穂 18

団体会員紹介②

広島山稜会 会報「峠」年1回発行 19

山の情報 19

わんぱく登山部報告 夏の北アルプス 20

山の風景④ 影信山 森智昭 20

1999 年 11・12～11・15 種村重明会長以下 18 名韓国訪問団結成、訪韓。大邸広域市の熱烈歓迎を受ける。八公山登山。(報告書刊行)
2000 年 8・17～8・22 韓国高校生訪問団(団長 洪萬植以下 55 名)広島訪問。三倉岳・細見谷沢登り・宮島包ヶ浦。
2001 年 8・1～8・6 広島高校生韓国大邸広域市訪問(団長 種村重明以下 57 名)八公山登山・慶州観光・大邸市観光。
2002 年 8・3～8・10 広島県高体連登山部北アルプス夏合宿に(団長 李源萬委員長・金德基・李外遠 3 名の幹部)参加
2003 年 8・19～8・24 韓国高校生訪問団(団長 洪萬植以下 87 名)広島訪問。三倉岳・奥三段峡沢登り・恐羅漢山登山・宮島包ヶ浦。
2004 年 8・14～8・20 広島県高校生韓国大邸広域市訪問(加賀谷健一団長以下 41 名訪韓)智異山合同登山・徳元高校クライミングコンペ等。(報告書刊行)
2005 年 7・30～8・6 広島県高体連登山部北アルプス合同夏合宿に源萬団長以下韓国高校生 13 名と顧問 6 名が参加。
2005 年 9・22～9・26 韓国大邸広域市交流登山訪問団、一般会員 37 名が参加、智異山・伽耶山を登山した。団長 山田雅昭理事長。(報告書刊行)
2006 年 10・26～10・30 韓国大邸広域市交流登山訪問団、一般会員 15 名が参加。八公山・伽耶山を登山。団長岩内秀昭 八公山山岳祭に参加。元国際部長兼森し蛾特別表彰を受ける。
2006 年 7・23～8・3 韓国高校生訪問団(会長 趙重衛以下 67 名)広島訪問。三倉岳・奥三段峡沢登り・恐羅漢山登山・宮島包ヶ浦・広島市役所訪問。
2007 年 8・2～8・7 広島高校生韓国大邸広域市訪問(加賀谷健一団長以下 20 名訪韓)雪嶽山合同登山・大邸八公山訪問・大邸市庁表敬訪問。

2008 年 7・31～8・7

広島県高体連登山部北アルプス合同夏合宿に源萬委員長以下韓国高校生 23 名と顧問 16 名、合計 39 名参加。剣岳・立山に登山。

2009 年 7・17～7・22

韓国高校生訪問団(会長車在祐以下 55 名)広島訪問。三段峡・恐羅漢山登山・宮島包ヶ浦・広島市役所訪問。

2009 年 11・27～11・3

第 40 回八公山山岳祭に団長岩内秀昭 以下 13 名が参加。雪嶽山大青峰(1708m)・11・1 開放された八公山西峰登頂。



写真は第 4 回日韓高校生交流登山 2004・8・16 智異山

クライミングスクールを受講して

**山を楽しむための出発日となった
初級 1 班 面田実穂**

月に一度の楽しみであるクライミングスクールが 11 月で最終回を迎えました。「今日でスクールも終わるか・・・一緒にやってきたメンバーともお別れか・・・」と、少し寂しい気持ちを抱えながらも、クライミング日和に恵まれ、空と壁を目前にするとワクワク感がわいてきました。

私たち 1 班は冗談を言い合える楽しい雰囲気ของกลุ่มでしたが、クライミングはロープワーク一つのミスで生死を左右するため緊張感も消えません。ビレイヤーに半分命を預けるため、仲間同士の信頼関係が欠かせないということも体験的に実感しました。1 班のメンバーは皆ほぼクライミングが初めてという人の初対面の集まりだったので、まだまだ信頼関係が深いものには至ってい

山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ

ませんでした。指導員の方々が見守ってくださったため、自分たちだけでは培えなかった安心感も与えてもらいながらクライミングを楽しむことができました。登れない壁にあれこれ触れて「ここだ」というカチを見つけられた瞬間や、あれこれ体を移動させて「よし！」というムーヴができた瞬間は、新しい自分になれたような喜びがあります。

クライミングスクールには他にも沢登りやマルチピッチ、レスキュー講習なども企画されていて、山をいろんな角度から楽しみ且つ学べ、私はスクール終了後には以前よりも「山って面白いな」と思うようになっていました。

最終日のクライミングを終えて下山しながら、メンバーの間で自然と「これからも皆でクライミングをやっぺいこう」という声が出てきて、皆で連絡先を交換しました。こうしてスクールの最終日は、これからもっと山を楽しむための出発の日となりました。このような機会を与え温かく指導してくださった指導員の方々に感謝するとともに、これからも山を楽しんでいきたいと思ひます。

団体会員紹介 ②

会報「峠」年1回発行

恐羅漢山山麓に「ひえばた小屋」建設 広島山稜会

- ① 団体会員名 広島山稜会
- ② 名前の由来 既に〇〇山岳会、〇〇山の会とあったが、会員のなかからこれと言う名前を出してもらい、投票により決定した。
- ③ 発足年月日 昭和34年3月2日
- ④ 会長名及び連絡先 広田忠彦
739-1734 広島市安佐北区口田三丁目42-22
広田忠彦方 tel・fax082-843-5564
- ⑤ 規程等 広島山稜会会則、細則、ひえばた小屋に関する使用規程、遭難対策規程、入会念書 役員を選出は毎年3月の臨時総会に会員の投票により選出され任期は1年で3選は認められない。会長、副会長は任期2年で同じく3選は認めない。できるだけ多くの会員に会の運営に携わってもらおうようにしている。

もみじ90

2009(平成21)年12月1日発行

- ⑤ 会の活動内容 月2～3回西中国山地を中心に活動。また北海道～九州の山行、スキー行を時々行う。
- ⑥ 会員数 56名
- ⑦ 会の目的 登山行為を通じて人格の向上、会員相互の親睦及び登山技術の向上を図るとともに、文化活動を行う。
- ⑧ 課題 会員の高齢化が進み、例会山行が若いメンバーに偏りがちになる。このため年齢や体力に応じた例会山行を計画し、山での会員相互の交流を図る必要があると考えているが、なかなか難しい状況にある。また我が会は発足3年目に恐羅漢山麓にひえばた小屋を建設し、これまで山行基地として、また、家族を含めて会員の融和を図る場としていまだに役だっているが、固定資産の維持管理は難題になりつつある。こうしたさまざまな問題等を解決するためには、やはり入会希望者の確保が一番の課題である。
- ⑨ その他 我が会の例会山行の参加者は小人数のことが多い。山行中に多人数のパーティとすれ違う際はどうしたらあんなに会員が集まるのだろうと羨ましく感じることもある。なにに何でも数が多ければいいというものではない「少数精鋭」という表現があるだろうと調べてみても必ずしもそうとは限らない。しかしながら山稜会創立以来芸北地域への関心を持ち続け山行が継続されており、今後もこれを継続していきたい。またわが会には「峠」という会報を年1回発行し、創立当時から続けられている。印刷を除き表紙から編集、校正などすべて会員の努力である。内容は会務記録、山行報告、会員による研究調査、随筆、詩歌など多岐にわたっている。

山の情報

安全登山研修会

時：6月28日(日) 場所：ふれ愛ランド(福山市自然研修センター) 内容：山岳連盟活動状況・負傷者搬送法(山内充人) 登山の楽しみ、心構え(平松携)・心肺蘇生法・三角巾の使用法(池田祐) 参加者30名。会費500円(広島県山岳連盟東部連絡会・担当村上真理)

第8回全国草原サミット・シンポジウム

山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ

時：9月26日（土）～28日（月） 場所：北広島町

広島県山岳連盟自然環境保全活動や昔の西中国山地、草原のある県内の山の写真を展示した。分科会では日本山岳会広島支部と共同でパネルディスカッションを担当した。山岳連盟関係は51名参加。（野島）

2009年度西部地区中高年安全登山指導者講習会

時：11月6日（金）～11月8日（日） 時：大分県
主催 文科省・日山協

来年度は広島県で開催予定。

第64回国民体育大会山岳競技 成人男子

ボルダリング競技 第3位 平成21年10月5日

監督 小桜創造

選手 藤沢伸次 中野 稔

もみじ90

2009(平成21)年12月1日発行

7時間 8・12(水) 高山市内観光、移動(広島へ)

8月7日(金) 隊員の日記

「バスをおりてキャンプ場に行っていると中で穂高がみえてきれいだったからカメラでとった。そのほかの山も見たり、カメラでとったりした。山の大きさにびっくりして声も出なかった。自然の大きさあらためてかんがえさせられた。」(6年生、初体験生徒の日記より)

写真は焼岳山頂にて



わんぱく登山部・夏の北アルプス遠征隊報告

初めての穂高に感動

自然の偉大さ考える

今年も高校生合同合宿に参加する形で、わんぱく登山部遠征隊を結成し遠征を行いました。本来ならばここに韓国交流が入る予定でしたが、日程が空いてしまい、急浮上した特別例会でした。今年は去年を上回る応募がありました。普段の活動の様子(体力や志向、その他)や、応募が本人のビジョンであるか、などといった視点から8人を決定しました。(わんぱく登山部つうしん NO4)

隊員の状況：男6 女2 6年5 5年3

遠征隊 経験年数 初5 2年目3

今回は梅雨明けの遅れや、台風の影響など、天候に大きく左右されましたが、目的の山の4つのうちの2つ「前穂高」と『焼岳』を登頂しました。休養日も爆笑エピソードたくさん。すっかり遊んで、8人の立派なアルピニストが誕生しました。

日程

8・7(金) 貸切バス、上高地 8・8(土) 休養 明神池など散策 8・9(日) 前穂高登頂 約12時間30分

8・10(月) 台風9号接近のため休養 8・11(火) 焼岳 約

山の風景 ④

影信山山頂 三次市甲奴町

撮影 2009・3・20 森 智昭



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事、山の情報など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しする事があります。ご了承ください。

○今号は「わんぱく登山部つうしん」から一部転載しました。会員団体会報発行されたら岳連事務局まで惠送下さい。随時紹介します。

この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。 編集：仲井正美